

- 問1 デンマークが再生可能エネルギーの導入を積極的に進め、世界でも有数の風力発電大国となった地理的な背景として、最も適切なものはどれか。
(2024年 大分県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------------------------------------|---|--|--------------------------------------|
| 1. 環太平洋造山帯に位置し、火山活動による地熱資源が豊富に存在するため | 2. 地中海沿岸に位置し、一年を通じて日照時間が長く太陽光発電に適しているため | 3. 北海に面しており、年間を通じて偏西風などの安定した強い風が得られるため | 4. アルプス山脈の急峻な地形を利用して、安定した水力を確保しやすいため |
|--------------------------------------|---|--|--------------------------------------|
- 問2 日本がある4つの国から輸入している品目の内訳を確認したところ、国Aはカカオ豆が30%、国Bは電気機器が30%と一般機械が17%、国Cは電気機器が36%とバナナが7%、国Dは乗用車が24%と医薬品が18%でした。このうち、ドイツに該当する国を選びなさい。
(2020年 岩手県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|-------|-------|-------|
| 1. 国B | 2. 国D | 3. 国A | 4. 国C |
|-------|-------|-------|-------|
- 問3 ヨーロッパ州において、EU（ヨーロッパ連合）の加盟国間で実施されている「人々の移動の自由」に関する具体的な内容として、正しいものはどれですか。
(2022年 沖縄県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|--|
| 1. 域内の移動は自由になったが、他国で働く場合には必ずその国の国籍を取得しなければならない。 | 2. 国境の検問所がすべて廃止されたため、EU域外の国からも自由にノーチェックで入国できるようになった。 | 3. パスポートの提示なしに国境を越えて移動したり、別の加盟国で就労したりすることが可能になった。 | 4. 移動の自由が認められているのは観光目的に限定されており、就業や居住には事前の許可が必要である。 |
|---|--|---|--|
- 問4 1990年から2020年にかけての主要国のエネルギー供給の変遷について、イギリスでは2010年から2020年の10年間で、発電電力量に占める再生可能エネルギーの割合が4倍以上に急増しました。このようにイギリスで再生可能エネルギーの導入が急速に進んだ背景として、最も適切な説明はどれですか。
(2023年 愛媛県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|---|
| 1. 2020年までに石油による火力発電の割合を2010年比で倍増させるというエネルギー政策を打ち出したため | 2. 国内に広大な砂漠気候の地域を有しているため、大規模な太陽光発電パネルの設置を優先したため | 3. 偏西風が安定して吹く北海の地理的条件を活かし、洋上風力発電の整備を国策として推進したため | 4. 二酸化炭素を排出しない原子力発電を、2020年時点で国内の全発電量の8割以上にする目標を達成したため |
|--|---|---|---|
- 問5 夏季に降水量が極端に少なく乾燥し、冬季に一定の降水が見られる気候条件に適応した、地中海沿岸で盛んな農業形態を何といいますか。
(2014年 兵庫県公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------|---------|-------|-------|
| 1. 地中海式農業 | 2. 混合農業 | 3. 酪農 | 4. 移牧 |
|-----------|---------|-------|-------|
- 問6 ヨーロッパ連合（EU）では、東欧諸国から西欧・北欧諸国への大規模な労働力の移動が見られますが、このような国境を越えた人口移動が可能となっている背景として、最も適切な説明はどれですか。
(2026年 神奈川県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|---|
| 1. EUのすべての国で共通通貨ユーロが導入され、各国の賃金水準が完全に一致するよう調整されたため | 2. 東欧諸国で急激な人口減少が起きたため、EUの命令によって強制的な移住が行われているため | 3. EU域内では、加盟国間における「人の移動の自由」が認められており、国境を越えて働くことができるため | 4. 西欧諸国が東欧諸国を併合し、すべての国々が単一の国家として統合されたため |
|---|--|--|---|
- 問7 2020年の統計において、オリーブの生産量が約813万8千トンと世界で最も多く、二位のイタリアや三位のチュニジアなどを大きく引き離して第一位となっている国はどこですか。
(2024年 栃木県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|--------|--------|
| 1. イギリス | 2. スペイン | 3. ロシア | 4. ドイツ |
|---------|---------|--------|--------|
- 問8 ヨーロッパ連合（EU）では、域内の経済的な結びつきを強めるために、多くの加盟国で共通の通貨が導入されています。この通貨の名称を答えなさい。
(2020年 福島県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|--------|--------|--------|
| 1. ドル | 2. フラン | 3. ポンド | 4. ユーロ |
|-------|--------|--------|--------|
- 問9 西ヨーロッパの気候に大きな影響を与える「北大西洋海流」と「偏西風」の仕組みについて、その説明として最も適切なものを選びなさい。
(2021年 佐賀県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|--|
| 1. 寒流である北大西洋海流が偏西風の進路をさえぎることで、北極からの冷たい風が西ヨーロッパに吹き込むのを防いでいる。 | 2. 暖流である北大西洋海流の上空にある温かい空気が、偏西風によって大陸側へ運ばれることで、冬の寒さを和らげている。 | 3. 季節風によって運ばれた北大西洋海流の海水が、西ヨーロッパの沿岸部で蒸発し、大量の熱を放出することで気温を上げている。 | 4. 偏西風が暖流の北大西洋海流を南へ押し戻すことで、赤道付近の熱い海水が西ヨーロッパ周辺に溜まりやすくなっている。 |
|---|--|---|--|
- 問10 ヨーロッパを南北に結ぶ断面図において、北海沿岸やアドリア海沿岸の平地と比較して、中央部に標高4000メートルを超える非常に高い山地が存在している理由を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。
(2021年 三重県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|------------------------------------|--------------------------------------|--|
| 1. アフリカプレートとユーラシアプレートが衝突し、地層が押し上げられたため | 2. 古生代の造山運動によって形成された後、長期間の浸食を受けたため | 3. 氷河時代に大陸全体が厚い氷に覆われ、その重みで周囲が沈み込んだため | 4. マントルから上昇したマグマが海底で冷え固まり、巨大な海嶺を形成したため |
|--|------------------------------------|--------------------------------------|--|
- 問11 ヨーロッパの北部や東部の統計において、穀物栽培と家畜の飼育が組み合わされている「混合農業」の仕組みや特徴について説明したものとして、最も適切なものはどれですか。
(2019年 富山県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|---|
| 1. 夏の乾燥に強いオリーブやブドウなどの果樹栽培と、冬の降水を利用した小麦栽培を組み合わせる。 | 2. 大都市への出荷を目的として、冷涼な気候を活かし乳牛の飼育と乳製品の加工に特化する。 | 3. 家畜の糞尿を肥料として耕地に還元し、穀物栽培と家畜の飼育を循環させて行う。 | 4. 季節による気温の変化に合わせ、家畜を夏は高地の牧草地へ、冬はふもとの平地へと移動させる。 |
|--|--|--|---|
- 問12 EUの拡大にともなう課題を説明した次の文のうち、イギリスがEU離脱を決断した背景にある、社会的な要因と文化的な要因をまとめたものとして最も適切なものはどれですか。
(2024年 北海道公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|-------------------------------------|--|
| 1. 共通通貨ユーロの導入により、自国の金融政策が自由に行えなくなったことへの反発 | 2. 周辺諸国との領土問題が解決せず、安全保障上の不安が解消されなかったこと | 3. 農産物の輸入自由化によって、国内の農業が壊滅的な打撃を受けたこと | 4. 域内からの移民の流入が急増したことへの不満や、自国の伝統や文化が損なわれることへの懸念 |
|---|--|-------------------------------------|--|

答え合わせ・解説

問1	答え 3 北海に面しており、年間を通じて偏西風などの安定した強い風が得られるため	デンマークは偏西風の影響を受ける北海に面した平坦な地形をしており、風力をエネルギーに変えるのに非常に適した環境にあります。この自然条件を活かし、地球温暖化対策の一環として、化石燃料や原子力に依存しないエネルギー構造の構築を推進しています。
問2	答え 2 国D	ドイツの輸出は、高い技術力を活かした工業製品に特化しているのが特徴です。選択肢の中で「乗用車」や「医薬品」が上位にある国Dがドイツに該当します。なお、国A（カカオ豆）はコートジボワール、国B（電気機器・一般機械）は中国、国C（電気機器・バナナ）はフィリピンの輸出構成の特徴をそれぞれ示しています。
問3	答え 3 パスポートの提示なしに国境を越えて移動したり、別の加盟国で就労したりすることが可能になった。	EUの統合による大きな利点の一つは、加盟国間での国境の行き来や就労が自由化されたことです。これにより、人々は国境を意識せずに隣国へ通勤したり、より良い条件を求めて他の加盟国で職を探したりすることが容易になりました。これは域内の労働力の最適化や経済の活性化に寄与しています。
問4	答え 3 偏西風が安定して吹く北海の地理的条件を活かし、洋上風力発電の整備を国策として推進したため	イギリスは偏西風の影響を強く受ける場所に位置しており、特に北海沿岸は風力が安定しているため、洋上風力発電に適しています。地球温暖化対策として「脱炭素」を掲げ、石炭火力発電から、環境負荷の低い再生可能エネルギーへと劇的な転換を図りました。石油や原子力に依存するのではなく、地理的特性を活かした風力発電が成長の柱となったことが、短期間での発電割合の急増につながっています。
問5	答え 1 地中海式農業	夏季の乾燥と冬季の降水という地中海性気候の特色を活かした農業です。乾燥に強いオリーブやブドウ、オレンジなどの果樹栽培と、冬の雨を利用した小麦栽培を組み合わせているのが特徴です。選択肢にある混合農業は家畜の飼育と穀物栽培を組み合わせたもの、酪農は乳牛を飼育し乳製品を生産するものを指します。
問6	答え 3 EU域内では、加盟国間における「人の移動の自由」が認められており、国境を越えて働くことができるため	EU（ヨーロッパ連合）の大きな特徴の一つは、域内における「人・物・サービス・資本」の移動の自由を保証していることです。これにより、加盟国の国民は他の加盟国へ自由に移動し、就業することが認められています。この制度と、東欧と西欧の間にある最低賃金の格差という経済的要因が組み合わさることで、賃金の高い国を目指した大規模な人口移動が起きています。
問7	答え 2 スペイン	地中海性気候を活かした果樹栽培が盛んなスペインは、世界最大のオリーブ生産国です。統計データにおいても、イタリア、チュニジア、モロッコ、トルコといった他の地中海沿岸諸国を抑えて、圧倒的な生産量を記録しています。選択肢にあるドイツ、イギリス、ロシアなどは気候帯が異なり、オリーブの主要な生産国ではありません。
問8	答え 4 ユーロ	ヨーロッパ連合（EU）の多くの国で使われている共通通貨はユーロです。1999年に決済用通貨として導入され、2002年から紙幣や硬貨の流通が始まりました。これにより、加盟国間での両替の手間が省かれ、経済統合が大きく進みました。
問9	答え 2 暖流である北大西洋海流の上空にある温かい空気が、偏西風によって大陸側へ運ばれることで、冬の寒さを和らげている。	北大西洋海流は、低緯度から高緯度へ向かって流れる暖流であり、周囲の空気を温める性質を持っています。この温められた温った空気が、中緯度地域を一年中西から東へと吹く偏西風に乗って西ヨーロッパの陸地上空に流れ込むため、緯度のわりに気温が高く、降水も平均的に見られる気候が形成されます。
問10	答え 1 アフリカプレートとユーラシアプレートが衝突し、地層が押し上げられたため	ヨーロッパ中央部に位置するアルプス山脈は、新期造山帯に分類されます。これはアフリカプレートが北上してユーラシアプレートと衝突し、その巨大な圧力によって地層が激しく習曲・隆起したことで形成されました。新期造山帯は形成された年代が新しいため、侵食があまり進んでおらず、4000メートル級の急峻で高い標高を維持しています。古生代の運動によるものは古期造山帯の説明であり、アルプス山脈の特徴とは異なります。
問11	答え 3 家畜の糞尿を肥料として耕地に還元し、穀物栽培と家畜の飼育を循環させて行う。	混合農業は、家畜を飼育することで得られる堆肥を穀物生産の肥料として利用し、生産された穀物の一部を家畜の飼料にするという循環型の仕組みを持っています。これは、もともと土壌があまり肥沃ではなかったヨーロッパ北部などの地域で、土地の力を維持しながら多角的な経営を行うために発展しました。
問12	答え 4 域内からの移民の流入が急増したことへの不満や、自国の伝統や文化が損なわれることへの懸念	イギリスのEU離脱（ブレグジット）の背景には、主に3つの大きな要因がありました。一つ目は、EU域内の比較的所得の低い国から労働者が流入し、自国民の雇用が奪われるという「移民問題」です。二つ目は、EUの決定が自国の法律や政策に優先されることに対する主権回復の動きです。そして三つ目が、これらの変化によってイギリス独自の伝統や文化が失われてしまうという危機感です。共通通貨ユーロについては、イギリスは加盟中も導入せずポンドを維持していたため、離脱の直接的な「変更点」ではありません。